



月報

缶詰問屋協会

(42.7.25 NO.7)

◇ 目次 ◇

| | |
|-------------------------|----|
| ◇(第6回)理事会 | 1 |
| ◇缶詰みかん共同宣伝実施要領 | 3 |
| ◇(第3回)果実部会 | 8 |
| 白桃缶詰の呼称の統一について福島缶協から要望書 | 10 |
| ◇東横・白木屋缶詰まつりの経過 | 12 |
| ◇松坂屋(上野店)缶詰まつり | 12 |
| ◇洋梨缶詰宣伝応募者数 | 13 |
| ◇取引高税新設に対する反対運動 | 14 |
| ◇パインアップル缶詰開缶研究会(東京会場) | 14 |
| ◇市況(チェリー缶詰) | 15 |
| 会 員 消 息 | 16 |
| 事 務 局 報 知 | 16 |

全国缶詰問屋協会

Japan Canned Food Wholesalers Association

東京都中央区八重洲通3丁目8番地
八重洲通ビル7階

電話 東京 (273) 9 2 8 9 番

7 月 の 行 事 一 覧 表

| 行 事 | 月 日 | 時 間 | 場 所 | 出 席 |
|----------------------|----------------|-----------------|---------------------|----------------------------------|
| (第4回)缶詰みかん宣伝委員会 | 7月 5日 | 10.00 ～12.00 | 日本缶詰協会 | 全缶協側3名 |
| 果 実 部 会 | 7月12日 | 10.30 ～12.30 | 北洋商会会議室 | 2 1名 |
| 理 事 会 | 7月12日 | 13.30 ～16.30 | 北洋商会会議室 | 2 2名 |
| パイン缶開研究会 | 7月14日 | 13.30 ～16.00 | 産 経 会 館 | |
| (第5回)缶詰みかん宣伝委員会 | 7月17日 | 10.00 ～12.00 | 日本缶詰協会 | 全缶協側3名 |
| 8 月 の 行 事 予 定 | | | | |
| 松坂屋(上野店)缶詰まつり | 8月 1日 ～ 11日 | | 松坂屋(上野店) 地下食料品売場 | 参加12社 後援:全缶協 日缶協 日本缶詰協会 |

(第 6 回) 理 事 会

1. 日 時 昭和42年7月12日 13.30～16.30時
2. 場 所 (株)北洋商会 7階会議室
3. 議 事 (1)みかん缶詰共同宣伝に関する経過報告
 (2)缶詰共同宣伝基金拠出要綱に関する件
 (3)みかん缶詰共同宣伝費負担に関する件
 (4)その他
4. 出 席 22名(うち代理人10名) 出席委任状 6名

※ 理 事 会 審 議 の 概 要

去る5月29日の日缶協田上会長、日缶協原消費拡大委員長、全缶協浅井会長の三者

会見を契機として全缶協が提唱してきた、1函1円の宣伝費拠出運動は先ずみかん缶詰の共同宣伝を手はじめとして実施することになり、これに伴い全缶協普及宣伝部会を6月5日、理事会を6月27日に開催した。

この理事会でみかん缶共同宣伝費3,000万円予算のうち、全缶協分担金700万円でみかん缶詰の共同宣伝に参加することになったが、700万円の徴収方法については、まず函1円の建前で徴収を図り事務局において早急にその原案を作成したうえであらためて理事会を開催することを決め、本理事会となったもので徴収方法を重点におき慎重なる審議が行われた。

1 みかん缶詰共同宣伝に関する経過報告

この件に関しては渡辺副会長から次のように経過報告があった。

「6月27日の理事会でみかん缶詰共同宣伝に参加することを決め、翌28日、29日の両日、日缶協会議室で私、北田専務理事、国分商店の安田仕入課長の3名が出席先方の案について電通、博報堂の見積りを検討の結果、具体的、効果的という点で電通案に内定し、29日に細部にわたつてこの電通案の検討を行なった。

更に7月17日の缶詰みかん宣伝委員会に電通から正式な計画書が提出される。

全缶協としては、缶詰全体の宣伝にしたかつたかここまで来たのでは止むを得ない。しかし将来われわれは1函1円運動に参加してもらうための下地として石を投じたということははっきり言えると思う。今後それを推進するのわれわれとしては会長1人にお任せしないで、われわれ全員が動かなければならないと考えている」

以上のような説明を行なった。

2 みかん缶詰共同宣伝費負担に関する件

みかん缶詰共同宣伝費の分担金700万円について全缶協の宣伝費の残が280万程度あり、それに款項目の流用で350万円はでき、残りの850万円をどう拠出するかにしぼり検討された。間屋手印ブランドの自主申告制、源泉徴収、付加金などの意

見も出たが、時間的余裕がなく、また徴収方法に無理があるということから700万円の拠出方法は半額を今年度の宣伝費から支出し、残り半額は次年度の宣伝費予算の中から拠出することに決定した。

缶詰みかん共同宣伝実施要領

7月17日、日缶協会議室において第5回目の缶詰みかん宣伝委員会が開催され、共同宣伝の最終的実施要領が次の通り決定した。

〔実施予算と媒体計画〕

1 実施予算

| | |
|--------------|------------|
| 1 新聞 | 1,500,000 |
| 2 雑誌(含雑誌-PR) | 8,500,000 |
| 3 テレビ | 14,200,000 |
| 4 交通広告 | 3,000,000 |
| 5 制作物(印刷関係) | 400,000 |
| 6 制作費 | 2,000,000 |
| 7 雑費・その他 | 400,000 |
| 計 | 30,000,000 |

2 各媒体予算の内訳

1 新聞

産経(東京・大阪)7月10日掲載

全7段夕刊 小計 1,500,000

2 雑誌(含編集面のPR、タイアップ)

女性週刊誌

女性自身 4C1P 8/21(編集面4C1P 8/21缶詰みかん)

のデザートメニュー)

週刊女性 4C1P 8/16 (編集面4C2P 8/16料理ページを
缶詰みかん特集とする)

女性セブン 4C1P 8/25 (編集面8/ 料理カード4C2P
缶詰みかん特集、その他)

ヤングレディ 4C1P 8/12 (編集面8/

児童週刊誌

少年サンデー 4C1P 8/12掲載 (編集面K1/3P 8/ 缶詰
みかんなぞなぞ例の様な科学記事)

少年マガジン 4C1P 8/12 (編集面K1P 8/ 同上)

少女フレンド 4C1P 8/12 (編集面K1P 8/ よい子のおや
つの作り方)

マーガレット 4C1P 8/12 (編集面K1P 8/ 私に出来る簡
単なおやつの作り方)

一般週刊誌

週刊文春 4C1P 8/12

週刊平凡 4C1P 8/17 (編集面4C1P8/17広告面と見開き)

週刊明星 4C1P 8/19 (編集面4C1P7/28水着特集ページ
に缶詰みかんを小道具に使用、4C2P
8/中旬 内容は委員会より提供)

週刊朝日 K1P 7/26.8/9 藤浦 洗のずい筆

サンデー毎日 K1P 7/26.8/9 河内桃子のずい筆

小 計 8,500,000

3 テレビ

番組”キングコング”NET(東京)~MBS(大阪)~KBC(九州)

放送時間 19:30~20:00 水曜日

放送時間 8月2日～9月27日 9回

提供 CM CMタイム 60"

提供テロップ

中スーパー2回

“白鳥の騎士”NET(東京)

放送時間 10:30～11:00 月曜日～土曜日

放送期間 8月1日～8月31日 27回

提供 CM CMタイム 30"

提供テロップ

中スーパー1回

8,000,000

スポット 放送時間表は別記

東京NET 15" スポット80本 5" スポット95本 計175本

大阪MBS 15" スポット82本 5" スポット82本 計164本

名古屋NBN 15" スポット75本 5" スポット75本 計150本

広島HTV 60" スポット27本 5" スポット27本 計54本

6,200,000

小計 14,200,000

4 交通広告

第1期 7月20頃掲載

京浜地区 国電全線 中吊 2日間 7/19～20

地下鉄銀座線 " " 7/22～23

" 丸ノ内線 " " 7/23～24

" 日比谷線 " " 7/22～23

" 東西線 " " 7/23～24

| | | | | | |
|------|---------|--------------|----|-----|--------------------|
| | 東急全線 | { 玉川・東横 他 | 中吊 | 2日間 | 7/23-24 7/24-26 |
| | 小田急 | | " | " | 7/21-22 |
| | 京王井ノ頭 | | " | " | 7/20-21 |
| | 西武新宿・池袋 | { 新宿 池袋 | " | " | 7/20-21 7/22-23 |
| | 京成 | | " | " | 7/20-21 |
| | 相模鉄道 | | " | 8日間 | 7/21-23 |
| | 東武東上線 | { 東武 東上 | " | 2日間 | 7/21-22 7/20-21 |
| 中京地区 | 国電 | | 中吊 | 6日間 | 7/22-27 |
| | 名古屋鉄道 | | " | 2日間 | 7/21-22 |
| | 近鉄名古屋線 | | " | 3日間 | 7/20-22 |
| 大阪地区 | 国電 普通 | | 額面 | 4日間 | 7/20-23 |
| | 市電 | | 中吊 | 2日間 | 7/20-21 |
| | 市バス | | " | " | 7/19-20 |
| 札幌地区 | 市電 | | 中吊 | 3日間 | 7/25-27 |
| | 市バス | | 額面 | 7日間 | 7/20-26 |
| 仙台地区 | 市電 | | 中吊 | 3日間 | 7/20-24 |
| | 市バス | | 額面 | " | 7/20-24 |
| 新潟地区 | 新潟電鉄 | | 中吊 | 6日間 | 7/20-25 |
| | 新潟交通バス | | 額面 | " | 7/20-25 |
| | | | 計 | | 1,4530枚 1,460,000 |

第2期 8月10日頃掲載

京浜地区 国電全線

地下鉄銀座線 中吊 2日間

" 丸ノ内線 " "

" 日比谷線 " "

| | | | | | |
|-------|--|---------|----------|------------|--|
| | 地下鉄東西線 | 中吊 | 2日間 | | |
| | 東急東横線 | " | " | | |
| 中京地区 | 名古屋鉄道 | 中吊 | 2日間 | | |
| | 近鉄名古屋線 | " | 3日間 | | |
| | 名古屋市電 | " | " | | |
| 京阪神地区 | 国電普通 | 中吊 | 2日間 | | |
| | 地下鉄 | " | " | | |
| | 京阪電鉄 | " | " | | |
| | 阪神電鉄 | " | 3日間 | | |
| | 南海電鉄 | " | 2日間 | | |
| 広島地区 | 広島市電 | 側吊 | 5日間 | | |
| | 広島電鉄 | 中吊 | " | | |
| 福岡地区 | 西鉄市内線 | 中吊 | 2日間 | | |
| | " 北九州線 | " | 5日間 | | |
| | " 福岡バス | 額面 | 10日間 | | |
| | | 計 | 13,965枚 | 1,540,000 | |
| | | | 小計 | 3,000,000 | |
| 5 | 制作物 | | | | |
| | 交通広告用並に關係団体配布用ポスター印刷費2回分 | | | | |
| | | | 小計 | 400,000 | |
| 6 | 制作費 | | | | |
| | 新聞雑誌、交通広告用原稿デザイン料、原稿制作費、テレビCM取材、録音録画、並に制作費 | | | | |
| | | | 小計 | 2,000,000 | |
| 7 | 雑費其の他 | | | | |
| | 缶詰みかん購入費(P R用)、 | サマーランド、 | 映画入場券購入費 | | |
| | 通信費(C M応募者其の他)、 | 其の他P R誌 | | | |
| | | | 小計 | 400,000 | |
| | | 合計 | | 30,000,000 | |

(第3回) 果実部会

日時 昭和42年7月12日 10.30～12.30時
場所 (株)北洋商会 7階会議室
議案 (1) チェリー-缶詰の状況報告ならびに販売に関する件
(2) 新物桃缶詰生産対策に関する件
(3) その他
出席 21名 欠席 1社

※ 部会討議の概要

1 チェリー-缶詰の状況

イ チェリー-缶詰の生産数量

6月末でチェリー-缶の大勢が決まり終了となつたが生産数量は主力の山形が計画の80%程度にとどまり、42～48万函程度、(5G缶を含む。丸缶4号2打は35万函位。)その他地区で20万函程度(丸缶)合計60万～68万函程度の生産と見られる。当初の予想より減産となつた原因として生食向引き合いが強かつたこと、早魓で玉伸びが悪く、原料が不足したことが挙げられる。

ロ 原料価格折衝の経過

原料値決めは、パツカー側は最低保証価格、キロ145円にあと5円のプラスアルファを主張したのに対し、生産者側は145円に20円加えた165円を主張しもの別れとなつた。

原料の供給面は前半は順調であつたが、後半に入つて若干原料が不足し、下請けパツカーのうちで他県原料を購入したところは多少無理をして高値買いをした向もあり、青果連としては県外が割高であるため県内も高値を希望するとい

うことであるが、パツカーの意向は145円にプラス5円でなんとか解決したい腹のようである。しかしいずれにしても果実部会としては山形缶協に側面的に援助する意味合いから、小売価格の値上げは、原料価格決定をまつて発表することとし全時に後半の分については若干の買増しに協力する旨を山形缶協、会長宛文書を送付することを決めた。

ハ 後半分の平均標準仕切価格について

6月14日の在京果実部会において、前半の50%について価格の検討を行なつた結果、売値大口98円(100函以上)、小口100円、小卸105円、小売価格125円(都内標準価格)の線が妥当であるとの見解に達しまず先高というムードを作るということでスタートしたが、まずまずの成果を挙げたので当部会では後半の仕切価格について山形缶協からの申入れのあつた価格に対し検討したところ4円乃至5円程度の買増しに應ずることとし、パツカーと個々折衝を行なうことになつた。

2 新物桃缶詰生産対策

1 桃缶詰の市況

ことしの作柄は順調であり、農林省統計によると22万1千2百トンで前年対比109%、前々年対比130%となつている。缶詰生産は6月中旬から山梨の早生、7月中旬にはいよいよ東北地区が開始される。昨年度の桃缶詰生産は丸缶520万函で原料高、増産の結果が市況を乱し、ことし9月までの丸缶在庫は70万函～100万函あり生産意欲は低調であるが、みかん缶の失敗を再び桃缶詰で繰り返さないようにするために適正生産数量の検討も行なわれたが、結論として全缶協は結局生産調整は出来ないという見方から直接生産数量にはふれず、消費にマッチした適正価格ということで慎重審議

し生産県の各缶詰協会会長宛に要望書を提出することとなり、日缶協消費拡大委員長、製缶協会にもその写しを送ることとなった。

□ 新物白桃缶詰の適正販売価格について

缶詰は需要と供給がマッチしておらず、これにマッチさせるような生産調整をするか、価格で調節するかなどを中心にして話合った。

ところが消費に見合う生産ということは理想であるが、それが出来ない現状では価格で調節するほか方法はないという結論から、市況分析を行なったところ昨年4号缶併用2割の小売標準価格は70～75円であつたのに対し現在の実勢価格はこれを大巾に下回っており、従つて新物の小売価格は60円位からスタートしないと困難との見方に固つた。

白桃缶詰の呼称の統一について福島缶協から要望書

(第3回)果実部会で検討した結果、新物白桃缶の適正価格について7月13日付で生産各県の缶詰協会に市況の実情を伝えたところこれに関連して福島缶協から7月19日付で全缶協浅井会長宛に次のような文書が寄せられた。

白 桃 缶 詰 に つ い て

拝復 毎々格別のご指導に預り有難く厚くお礼申し上げます。

さて、標記についての7月13日附貴簡正に拝讀仕りご趣旨洵にご尤と存じ極力原料価格の安定につとめご期待に副いたい所存でございますので貴会のご協力を切にお願いする次第でございます。

なお為念 お伺い申し上げますが従来単に全糖、併用とのみ区別されておりますものの中には全糖と称されているものにも湯むき(蒸気むき)もあればアルカリ割のものもあり又併用にも同様大きく分けて2通りあります(或は1級品2級品と呼称され

ている場合もあります)

この際単に「併用」「全糖」とのみの呼称を改めて「併用湯むき」又は「併用アルカリむき」および「全糖湯むき」「全糖アルカリむき」と呼称を統一し、おのこの間に正常な価格差をつけるようご指導頂くことは白桃缶詰市場を現在のような混乱から安定させる一つの道であろうと存じますが如何でしょうか。

ご高見ご一報頂ければ幸甚に存じます。

先はお願少々お伺い申し上げます。

敬 具

なお、これに対して全缶協は7月22日付で福島缶協に次の返書を送付した。

白桃缶湯むき、アルカリむき価格差の件

拝啓 盛夏のよいよ厳しき折柄、貴協会ますますご隆昌にて大慶に存じます。

さて、さきに弊協会よりお届け申しあげました「本年度白桃缶詰販売価格予想に関する件」につきましては早速ながら期待に副うよう努力するとのご返書をいただき厚くお礼申しあげます。

貴協会お申越しの「併用湯むき」又は「併用アルカリむき」および「全糖湯むき」「全糖アルカリむき」と呼称統一し、かつそれらに見合う正常な価格差を設けたいとの貴協会のご趣旨は、商品価値および技術面よりの見地において、ごもつともなるご意見と存じますが、実際問題として流通面で区別可能なるか否かにつき、弊協会におきましても早い機会に果実部会を開き協議検討致したいと存じますので、いま暫くのご裕余をいただきたいと思います。

先ずはお礼少々ご返事申し上げます。

敬 具

東横・白木屋缶詰まっりの経過

東横・白木屋デパート主催による東横・白木屋缶詰まっりは、6月11～21日の10日間両店全時に開催されたが両百貨店とも予想以上の販売成績とPRの成果をおさめ終了した。

〔後援〕 全国缶詰問屋協会・日本缶詰協会・日本製缶協会

〔参加者〕 (株)国分商店・(株)明治屋・(株)北洋商会・(株)逸見山陽堂・(株)鈴木洋酒店
三井物産(株)・野崎産業(株)・日缶商事(株)・(株)中島董商店・クレードル興農(株)
日本水産(株)・日魯漁業(株)・日本冷蔵(株)・雪印食品工業(株)・
関東缶詰食品(株)ゴールドパック(株)・清水食品(株)・(株)鎌倉ハム富岡商会
以上18社

〔展示・販売〕 18社各15品目以内で計286点の出品があり、10日間の販売は果実・肉類・さけ・かに缶詰を中心に、東横4,923千円、白木屋2,859千円 合計7,282千円の売上げがあつた。

松坂屋（上野店）缶詰まっり

松坂屋（上野店）の缶詰まっりは次の要領で開催される。

1. 名称 「缶詰まっり」
2. 場所 (株)松坂屋上野店地下食料品売場 台東区上野3～29～5
3. 期間 8月1日（火曜日）～8月11日（金曜日）まで10日間
4. 主催 (株)松坂屋上野店営業第4部食品第1課
5. 後援 日本缶詰協会・日本製缶協会・全国缶詰問屋協会
6. 協賛銘柄 ひがさ・あけぼの・K&K・こけし・サンヨー・日冷・ノザキ・
明治・アオハタ・明治屋・バンナー・桃屋
7. その他 缶詰まっりスペース約25坪予定

立食コーナー

料理教室

製造工程の実演コーナー等の設置。

洋梨缶詰宣伝応募者数

全缶協、山形缶協、共同による洋梨缶詰宣伝広告は婦人画報（6月号）、栄養と料理（6月号）、マドモアゼル（6月号）、オール読物（7月号）、女性セブン（5月17日号）の5誌、グラビヤ1頁、全国版に掲載され、そのクイズは6月15日に締切られた。応募者の集計は山形缶協で行なわれたが全国応募件数は5,198通といわれる。なおこの応募者のうちより抽選によつて1,000名に洋梨缶詰セット（3缶）が贈られることになつてゐるがその抽選は7月中の予定。県別応募者数は次の通り。

県別応募ハガキ枚数

| | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 北海道 | 217 | 千葉 | 144 | 愛知 | 235 | 徳島 | 53 |
| 青森 | 67 | 東京 | 734 | 三重 | 67 | 香川 | 56 |
| 岩手 | 72 | 神奈川 | 311 | 滋賀 | 38 | 愛媛 | 62 |
| 秋田 | 102 | 新潟 | 112 | 京都 | 132 | 高知 | 53 |
| 宮城 | 144 | 宮城 | 78 | 大阪 | 343 | 福岡 | 183 |
| 山形 | 86 | 石川 | 38 | 兵庫 | 218 | 佐賀 | 20 |
| 福島 | 81 | 福井 | 43 | 奈良 | 35 | 長崎 | 107 |
| 茨城 | 49 | 山梨 | 32 | 和歌山 | 63 | 熊本 | 69 |
| 栃木 | 53 | 長野 | 68 | 鳥取 | 77 | 大分 | 61 |
| 群馬 | 65 | 岐阜 | 99 | 島根 | 44 | 宮崎 | 34 |
| 埼玉 | 155 | 静岡 | 185 | 岡山 | 85 | 鹿児島 | 52 |
| | | | | 広島 | 126 | | |
| | | | | 山口 | 100 | 合計 | 5,198 |

取引高税新設に対する反対運動

全缶協、理事西出忠義氏(櫛吉川商店 代表取締役)は神戸実業協会常務理事も兼務しておられるが、同氏は全常務理事名をもつて7月14日付神戸商工会議所会頭浅田長年殿宛に「取引高税新設に対する反対運動について」書簡を送り、全時にその写しを全缶協事務局に寄せてきたが、その全文は次の通りである。

〔取引高税新設に対する反対運動について〕

冠省 頭書の件について大蔵大臣が税制調査会に対し所得税軽減の代り財源として取引高税制定の考想を明らかにして其検討を命じたとの報道あり、御承知の通り此の悪税は終戦直後一時制定され其悪税たる事実が証明され一般財界の反対と共に廃止された前歴があり我々流通部門に携わる者として自由であるべき現代の我国の流通段階を無視する事甚しき悪税と存じますので全国的に商工会議所として不問に付すべきもので絶対に無い事は自明の理と存じますので何卒此の問題を全国会議所の問題として取上げられ一大反対運動を展開される様進言申し上げます。 敬 具

パインアップル缶詰開缶研究会 (東京会場)

日 時 昭和42年7月14日 13.00～16.00時
場 所 産 経 会 館 (502号室)
主 催 日本パインアップル輸入協会
後 援 財団法人 日本缶詰検査協会
協 賛 全国パインアップル缶詰内販会

日本パインアップル輸入協会では去る6月28日のホテル阪神におけるパインアップル缶詰の開缶研究会につづいて7月14日東京、大手町の産経会館で大阪同様に市販パインアップル缶詰の開缶研究会を盛大に開催した。

この東京会場では午前8時半から午後1時まで農林省農林経済局消費経済課の松岡正次技官、財団法人日本缶詰検査協会常務理事鈴木輝男氏、東洋製缶株式会社熊倉悟氏などが審査員となり、65点におよぶ各国パインアップル缶詰の審査が行なわれた。

大阪会場における開缶結果では特に沖縄パインアップル缶詰の軽量缶が目立ち問題となつたが、東京会場にあつては果してどんな結果が出るか、関係業者の関心も高く、会場は大阪会場以上の緊張感がみなぎつていた。

午後1時の定刻までには全審査を完了。午後1時から午後2時半まで開缶研究会が催された。この日の主な参加者は各関係官庁担当技官をはじめ沖縄現地の業者、沖縄パインアップル缶詰輸入協会関係者、日本パインアップル輸入協会、全国パインアップル缶詰内販会、全国缶詰問屋協会の各会員、業界新聞社など約200名が参加、午後2時半から約30分間にわたり審査結果の講評も行なわれた。

なお、審査結果については65点(台湾3点、米国9点、比島2点、沖縄44点、参考品4点)のうちA・A'・B・B'・C・Dの6段階に区分けし審査し、Aに格付されたものは2点、A'は5点、B17点、B'15点、C20点、D2点(参考品4点はいずれもD)となつている。

市 況

〔チエリ - 缶 詰〕

レッドチエリ缶詰は主産地山形の生産も終了し、全国生産数量は実函60万函～63万函程度で当初の計画(65万函～70万函)より下回つた。

一次問屋では7月10日頃までにはことしの計画数量の全量を売切つたところもあるが、各社第2次出荷分から値上げを実施しており、先高ムードで推移し出来秋価格より問屋出し値で2～3円、小売で10円程度の値上り予想である。

現在4号缶(枝付き)小卸115円、小売140円が中心だが、市況も先ず順調な商
内であり、2次、3次店から末端まで適正な流れを示しており、来年4~5月頃には
全量消化の見通しとなつてきている。

事務局報知

[指定銀行・移転のお知らせ]

全缶協の取引銀行、三菱銀行八重洲口支店は、7月24日付で全行日本橋支店に統
合されました。従つて今後三菱銀行にお振込みいただく場合は下記へお願い致しま
す。 三菱銀行日本橋支店

中央区日本橋通り1の7(西川ビル)

TEL (272) 5151 (代)

会員消息

※明治商事(株)食品部長宮部七郎氏は7月20日付で退職し、後任は松本行弘、常務取
締役が管掌となつた。

[社名変更]

※株式会社井上商店(東京都新宿区三栄町8番地社長井上酉次氏)は企業合同し8月
1日から「株式会社五光」で新発足する。

住所は 文京区大塚4の12の8 電話(044)0171-8 代表取締役は岡田忠一氏

※合資会社松下商店(静岡市新道1~9~14 社長松下兵太郎氏)は8月1日から
合資会社マツシタ商事と社名変更する。

[電話変更]

株式会社菅原商店(横浜市中区初音町2の29)の電話番号は7月17日から下記番
号に変更となつた。 市外局番 横浜 241 { 5521(代表)

(045) { 5524(仕入部専用)

※ 全缶協マークを現在募集中であります。応募点数が少ないため締切りを8月末日まで延期致します。

どうか振つてご応募下さいませようご協力お願い申し上げます。

なお、募集要領は月号巻末に掲載してあります。

※ 8月下旬には正式な会員名簿が刷り上る予定ですが、まだ会員名簿原稿を事務局へお送りになつておられない向きは大至急ご回示のほどお願い致します。

なお、変更個所が生じた場合は8月10日までに事務局までお知らせ下さい。

暑 中

お 見 舞 い

申 し あ げ ま す

昭和42年 盛夏

全国缶詰問屋協会

役 職 員 一 同

「全缶協マーク」募集

全国缶詰問屋協会では「全国缶詰問屋協会マーク」を広く会員ならびに業界関係者より募集致すことになりましたのですんでご応募のほどお願い申し上げます。

応 募 要 領

1. 図案内に「全国缶詰問屋協会」および英文「JAPAN CANNED FOOD WHOLESALERS ASSOCIATION」または「全缶協」および英文を挿入のこと。但し字体は随意
2. 図案は全缶協の理念である缶詰の「消費」と「生産」の均衡をシンボライズしたものまたはこれに準ずるもの。彩色は自由。
3. サイズは15cm×15cm。
4. 締切り 昭和42年8月31日
送り先 全缶協事務局
5. 選 衡 理事会にて選衡し入選作品5点を決める。
6. 賞 金 (イ) 採用作品 50,000円
(ロ) 入選作品 下記缶詰 5函
桃缶詰4号缶2打入 1函
みかん缶詰5号缶4打入 1函
フルーツポンチ缶詰4号缶2打入 1函
フルーツみつ豆缶詰5号缶4打入 1函
まぐろ油漬缶詰ツナ2号缶4打入 1函
7. 発 表 昭和42年9月号全缶協月報に発表。
8. その他 入選作品の著作権は全缶協に属するものとする。
なお応募は一人何点にても可。

以 上

